

2011年度東海地区協議会研究会運営委員会 第6回議事録

日 時 : 2012年2月23日(木)15時30分～18時00分
場 所 : 中部大学名古屋キャンパス8階会議室8C
出席者 : 中田(名古屋学院)、中島(豊橋創造)、伏見(名古屋経済)、島田(愛知)、
藤岡(愛知学院)、加藤(愛知工業)、池戸(岐阜聖徳学園)、平野(中京)、
峯野(東海学園)、保富(豊田工業)、八鳥(名古屋外国語)、石田(南山)、
蓑島(中部)、稲垣(中部 文責) 敬称略(以下同じ)

協議事項

1. 2012年度実務担当者研修会について

加藤委員より実務担当者研修会企画案資料に基づき説明があり検討を行った。全体講義及びワーキングの候補講師について説明があった。ライティング支援セミナー(職員向け)については、90分の座学と90分の演習を予定。同席の丸善担当より補足があり、半日のボリューム内容を3時間に短縮する。どこに重点を置くか検討して3月末までに提案し委員会と検討していくこととした。

蓑島委員長より次の報告があった。

ワーキング担当 A 図書館ガイダンス 加藤 蓑島
B パスファインダー 島田 峯野
C レファレンスツール 中田 中島

このメンバーを中心に、各グループの企画・事前準備等を行う。

なお、2012年度主幹事校となる名古屋経済大学の伏見委員が主幹事の担当に、これに伴い中田委員が研修会担当となる。

講師謝礼について、2012年度には基準を作成したい旨の説明があった。

2. 2012年度研究会について

次年度主幹事伏見委員より、資料に基づき説明があり検討を行った。

第1回は6月25日の週を予定し、依頼する講師の予定に合わせる。場所は名古屋経済大学(犬山)とする。危機管理については、災害・防犯を含め幅広い内容で講演を依頼する。講演1の講師については、中沢氏を第1候補とし講演2については、野副氏に依頼する。講演時間は講師予定者と折衝し決める。このほか、ポスターセッションも行い、事例報告も東海地区の大学に依頼し、日程を1日とし10時30分より実施とする。

第2回は10月を予定し、場所は愛知大学新名古屋キャンパスを第1候補とし、愛知大学と交渉する。テーマを電子書籍とし、候補講師について説明があった。電子書籍関係の業者2社以上のプレゼンと報告を予定し、業者のブースも設ける。先進事例報告として、公共図書館もしくは他地区の大学納入業者にも依頼を検討する。このほか、アンケート・研修会の報告を行う。日程は1日とし、10時30分より実施とする。

3. 東海地区協議会ウェブサイトについて

石田委員よりウェブサイト管理について報告があった。各事業に合わせてウェブサイトのデータを更新している。来年度の担当について、ウェブサイト更新は石田委員と池戸委員、館灯データ管理は池戸委員、ウェブサイトのデータ確認は石田委員・池戸委員・保富委員、取りまとめは石田委員とする。

新ウェブサイトについて、協議会全体のリニューアルを業務委託し作成すると連絡があった。テスト環境画面を見ながら検討し委員から意見・要望を聞いた。文字・色合い・スペースの取り方、カテゴリーなどについて意見が出され、現在の内容とも比較した。2月28日にヒアリングがあり、蓑島委員長と石田委員が参加し当運営委員会の要望等を伝える。

4. その他

中田主幹事より館灯について報告があった。現在2次校正中で、表紙の案を作成し、総ページは約150ページとなる。先日50年史資料に関する一覧データを加盟館にメールした。3月末までに完成する予定である。

2011年度会計報告について担当の稲垣より前回の運営委員会の指摘を踏まえた修正資料の説明を行った。本日の会議費を加えた資料を各委員に後日送付し、その資料を常任幹事会に報告する。

蓑島委員長より、次年度事業計画案についての説明があった。本日決まった内容を加えて資料を完成し予算案とともに常任幹事会に報告する。

次年度体制について、蓑島委員長より説明があった。今年度のメンバーに2013年度主幹事校の名古屋芸術大学を加えた体制で行う予定である。

次回、2012年度第1回運営委員会は4月13日(金)15時を予定

以上